

# 第15回地球観測に関する政府間会合(GEO)本会合 及び関連会議等(GEO Week 2018) 開催結果



2018年12月20日

文部科学省 研究開発局 環境エネルギー課



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# 第15回GEO本会合 開催結果概要 (その1)

1. 期 間： 2018年10月31日(水)～11月1日(木)
2. 場 所： 国立京都国際会館
3. 出席者： 約500名 (参加国：約300名、参加機関：約100名、その他民間企業等)
  - ◇ 共同議長国： 南アフリカ(司会)、欧州委員会(EC)、中国、米国
  - ◇ 参加国： 日本、英国、豪州、韓国等の執行委員国をはじめとするGEOメンバー国
  - ◇ 参加機関： WMO、CEOS、IEEE等
4. 概 要：



SUPPORTING A RESILIENT  
& SUSTAINABLE WORLD  
**GEO WEEK 2018**  
29.10-2.11 • KYOTO, JAPAN • #GEOWEEK18



## (1) 開催国挨拶

- 永岡桂子 文部科学副大臣より、世界が地球環境の持続可能性に対する危機感を持ち連携して課題解決に取り組む中で、GEOは地球観測によってこれをサポートすべき旨が述べられた。
- 油井亀美也 JAXA宇宙飛行士グループ長より、地球観測の活動は、私たちの家である地球を守る非常に重要な活動であり、環境を守りながら私たちが長く発展を遂げ続ける事ができるかどうかは、この分野で国際協力が進むか否かにかかっていると言っても過言ではない旨が述べられるとともに、GEOへの期待について言及があった。

## (2) 基調講演

- 水鳥真美 国連事務総長特別代表 兼 国連国際防災戦略事務局(UNISDR)代表より、社会的に脆弱で貧しい人々を守るため、政策決定者は仙台防災枠組を支える上で、正確で入手しやすく理解しやすい地球観測データと地理空間情報が必要である旨が述べられた。
- また、地球観測データは国の最新のリスク評価に大いに役立つこと、既存の公的統計とのギャップを補うことで実施状況の全体像の提供に役立つこと、グローバルなリスク評価の枠組と連携するUNISDRの取組に不可欠なものであることについても言及された。

## (3) 3つのパネルセッション (①SDGs、②パリ協定、③仙台防災枠組)

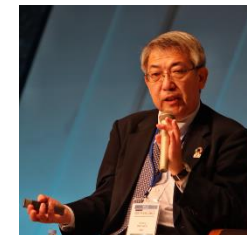
### ① SDGsを支える地球観測

#### 〔基調講演〕

地球規模の地理空間情報に関する国連専門家委員会(UNGGIM)のGreg Scott氏より、地球観測データ、プロダクト、サービス等を提供することで、SDGsの監視や報告、実施を支えることをGEOコミュニティに対して期待する旨が述べられた。

#### 〔パネル概要〕 (モデレータ：大竹暁氏(JST)、パネリスト：石田中氏(JAXA)他)

- エビデンスに基づいた意思決定に対応するため、SDGsに関する取組をGEOワークプログラムに融合する更なる取組が必要。
- SDGsの達成を実効的に支援するため、地球観測データと統計データ、他の情報との密な連携を推進する。



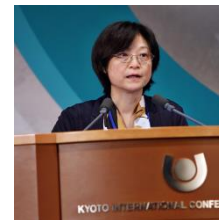
### ② パリ協定を支える地球観測

#### 〔基調講演〕

国連気候変動枠組条約(UNFCCC)事務局のFlorin Vladu氏より、気候変動は甚大な悪影響を与えるため、すぐに解決策を見つける必要がある旨が述べられた。また、地球観測は、説得力のある政策形成や適応策と緩和策の取組を強化するために有効であること等についても言及があった。

#### 〔パネル概要〕 (パネリスト：三枝信子氏(NIES)他)

- GEOは、グローバルな取組を強化するために、UNFCCCのプロセスへの関与を強化すべき。
- 陸上や海洋の生態系は温室効果ガスの吸収作用を有するが、気候変動に対して脆弱である。地球観測はそれらを守る鍵となる。
- GEOが、既存の地上観測の能力向上や、公平で開かれたデータ提供の強化に貢献することを奨励する。



# 第15回GEO本会合 開催結果概要 (その2)



## ③ 仙台防災枠組を支える地球観測

〔パネル概要〕(モデレータ: 小池俊雄氏 (ICHARM))

- 地球観測データ及び地球観測情報は、「より良い復興」のために、より良い評価、検証、監視、予測を提供することができる。
- 仙台防災枠組の観点では、地上観測は衛星観測と同様に重要であり、結びつきを強化すべき。

## (3) 地域GEOイニシアチブの発表

- 4地域GEOSS (AOGEOSS, EuroGEOSS, AmeriGEOSS, AfriGEOSS) から、それぞれの活動について報告があった。

## (4) GEOアソシエイトの設立提案

- 商業セクターを含む新たな分類として、「GEOアソシエイト」を設置することについて大筋で承認された。
- 懸念事項 (加入審査や手続規則、GEOのガバナンスに与える影響等) については、執行委員会がサブグループを立ち上げて検討し、次回執行委員会にて報告予定。  
〔サブグループメンバー〕 日本、フランス、EC、米国、中国、豪州、スペイン、イタリア、南アフリカ

## (5) 超学際的科学的のための新たなパラダイム

- 山川宏 JAXA理事長が登場し、JAXAは様々な無償の人工衛星データや情報・製品を通じて、新興国への技術の共有を含むグローバルな環境監視に注力している旨が述べられた。
- その他、IIASAのMichael Obersteiner氏、及びDigital Earth AfricaのStuart Minchin氏が登壇した。

## (6) その他承認事項

- 地域GEOの役割 (「地域GEOSS」イニシアチブを地域コーカス活動の一環とし、「地域GEO」と定義する)
- GEOワークプログラム2017-2019改訂版 (GEO土地劣化中立性イニシアチブの追加等)
- 2019年プログラム委員会メンバー (日本、ESA、米国は引き続き共同議長を務める)
- 2019年予算案、2017年監査報告書
- GEO戦略計画2016-2025の中間評価時期 (2019年1月評価開始、2020年第17回本会合で報告予定)
- 手続規則改訂 (GEOアソシエイトの設置、地域GEOの定義の追記等)

## (7) 2019年の執行委員国の発表

- 事前に開催されたコーカス会合の結果を受け、第16回本会合までの執行委員国が以下のとおり報告された。

◇ アジア・オセアニアコーカス	: 中国、韓国、日本、豪州
◇ ヨーロッパコーカス	: EC、ドイツ、イタリア、スイス (フィンランド、英国から交代)
◇ アフリカコーカス	: <u>南アフリカ</u> 、モロッコ、セネガル (ウガンダから交代)
◇ CISコーカス	: ロシア、アルメニア
◇ アメリカコーカス	: <u>米国</u> 、アルゼンチン、エクアドル

※ 下線は共同議長国

## (8) 2019年閣僚級会合及び第16回本会合 オーストラリア開催アナウンス

- 豪州より、2019年閣僚級会合及び第16回本会合の開催地 (キャンベラ) 及び日程 (2019年11月上旬) について、ショートビデオ上映と告知が行われた。

# GEO Week 2018 展示概要 (その1)

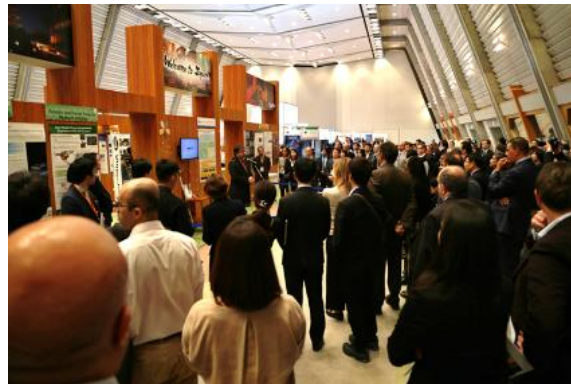
## Japan GEO 展示

### (1) 出展テーマ

「日本の地球観測におけるSDGs・気候変動・防災への貢献」

### (2) 出展機関：22団体 (順不同)

- 文部科学省
- 気象庁
- 独立行政法人 国際協力機構 (JICA)
- 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
- 国立研究開発法人 防災科学技術研究所
- 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 (JAMSTEC)
- 国立研究開発法人 国立環境研究所 (NIES)
- 国立研究開発法人 土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM)
- 情報・システム研究機構 国立極地研究所 (NIPR)
- 森林研究・整備機構 森林総合研究所
- アジア太平洋生物多様性観測ネットワーク (AP-BON)
- 一般財団法人リモート・センシング技術センター (DIAS)
- フューチャー・アース
- 名古屋大学大学院・三重大学大学院
- 広島大学
- MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社
- 株式会社NTTデータ
- 株式会社鶴見精機
- 株式会社アクセルスペース
- 株式会社ソニック
- 国際航業株式会社
- 株式会社パスコ



### (3) ショートレクチャ

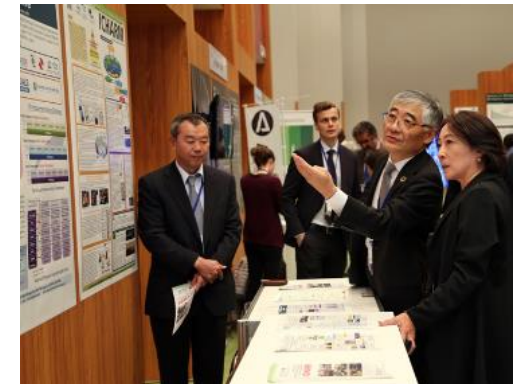
〔司会〕文部科学省 森 泉

〔2018年10月31日(水)〕

- NIES地球環境研究センター 佐伯 田鶴氏  
“Satellite monitoring of greenhouse gases since 2009: GOSAT and GOSAT-2 ~ Towards contribution to sustainable development ~”
- JICA地球環境部 小此木 宏明氏  
“Introduction of JICA-JAXA Forest Early Warning System in the Tropics (JJ-FAST)”
- NIPR/JAMSTEC 深澤 理郎氏  
“Toward the Arctic Sustainability”

〔2018年11月1日(木)〕

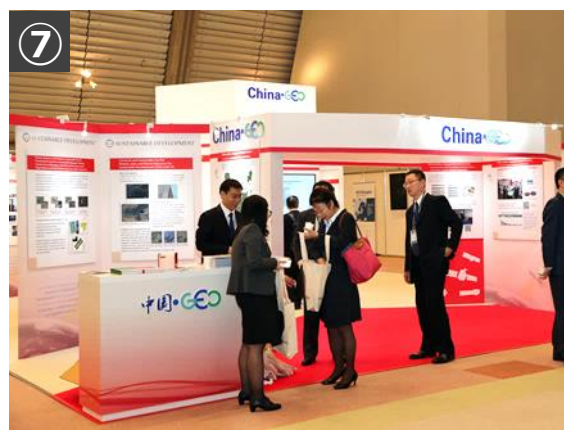
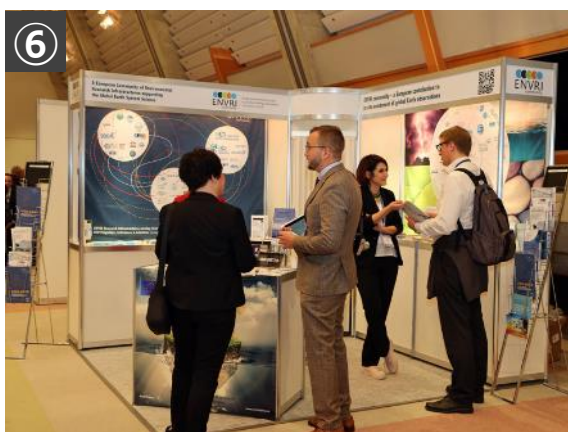
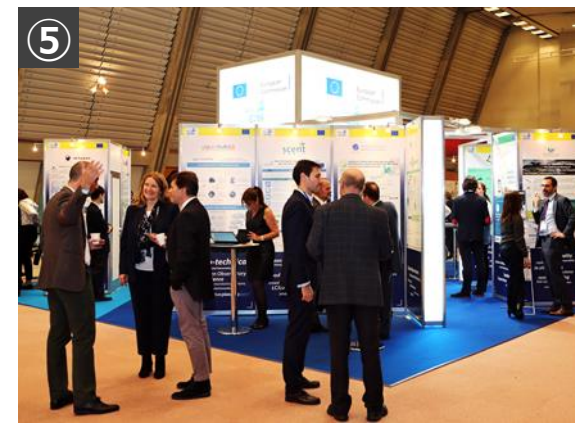
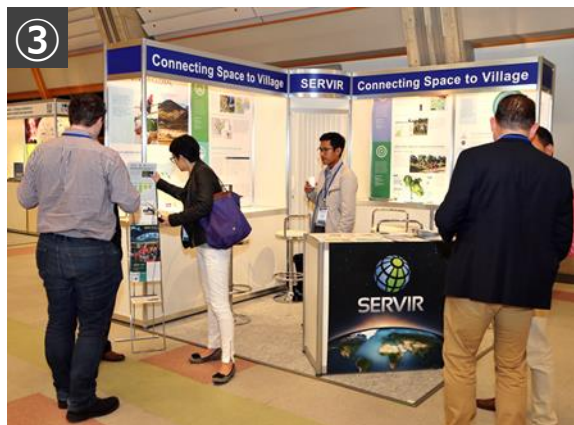
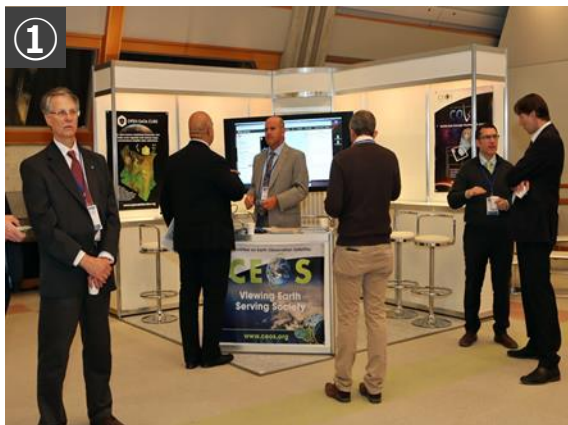
- NIES地球環境研究センター 三枝 信子氏  
“Earth observations for monitoring carbon and GHGs to support effective climate change mitigation and adaptation policies”
- JAXA第一宇宙技術部門 地球観測研究センター 沖 理子氏  
“Global rainfall monitoring and application”
- ICHARM 池田 哲也氏  
“ICHARM’s support to establishment of the Platforms on Water Resilience and Disasters under the International Flood Initiative (IFI)”
- 欧州宇宙機関/フューチャー・アース Cat Downy氏  
“Future Earth: Accelerating transformations to global sustainability”



# GEO Week 2018 展示概要 (その2)

## 各国・機関の展示

- ① 地球観測衛星委員会 (CEOS)
- ② Esri
- ③ SERVIR (ICIMOD/ADPC)
- ④ USGEO
- ⑤ EC
- ⑥ ENVRI Community
- ⑦ China GEO & AOGEOSS



# GEO Week 2018 サイドイベント概要 (その1)

## Asia Oceania Day

1. 日時： 2018年10月29日(月) 9:30-17:40
2. テーマ： “Fostering synergy among Regional GEOSS Initiatives”
3. 目的： AOGEOSSイニシアチブの活動を紹介し、他の地域GEOSS等との協力拡大を図る
4. 概要：

### (1) 開会

- GEO事務局長とアジア・オセアニアコーカス代表による開会挨拶
- 各国のGEO政府代表からのスピーチ
- 第11回アジア太平洋シンポジウムの要約報告

### (2) 特別セッション

- 太平洋の島嶼国の環境、気候、生活に関するニーズを支える地球観測

### (3) 国・地域GEOパネルセッション

〔地域セッション〕 (モデレータ：村岡裕由氏(岐阜大学)、Imraan Saloojee氏(南ア))

- 4地域GEOSSの活動紹介及び地域を超えた協力への期待や課題の共有

〔国セッション〕 (パネリスト：小池俊雄氏(ICHARM)他)

- 各国のGEOの取組紹介

### (4) 新興ケーススタディ (パネリスト：矢原徹一氏(AP-BON)、森田隆博氏(JICA)他)

- 新興プロジェクトの概要紹介
- メコン川に関する既存のプロジェクト紹介
- メコン川の監視能力強化や、成果の活用に関するパネルセッション

### (5) 閉会



## 10月29日に開催されたサイドイベント

部屋	時間	イベント名
B1	8:30-18:30	Asia Oceania Day: "Fostering synergy among Regional GEOSS Initiatives"
B2	8:30-12:30	GEOSS EVOLVE - "Unlock Earth Observations" towards Knowledge
	13:30-15:30	Advancing the Discovery, Integration, and Reproducibility of Data in GEOSS through Data Sharing
	16:00-17:30	Regional capacity building for sustainable EO Communication Infrastructure
	17:30-18:30	2nd GEO Communicators Network Roundtable
C1	8:30-12:30	Identifying, communicating and delivering the value of Earth observations - a regional approach
	13:30-15:30	GEO Cold Regions Initiatives
	15:30-17:30	EO in mountain regions - advances, challenges and opportunities
C2	8:30-10:30	So many maps, so little time: Making informed decisions in high-risk environments
	11:00-13:00	Detecting and Analysing Changes and Future Scenarios in Protected Areas: from ECO-POTENTIAL to GEO ECO
	13:30-17:30	Towards integrated in situ ecosystem observations
D	8:30-10:00	Can we have a GEO Initiative on a common approach to Essential Variables?
	13:30-17:15	Elevating Citizen Science at GEOSS
E	9:00-14:00	Earth Observation Applications for the Sustainable Development Goals: GEO Work Programme Efforts and Opportunities for Scaling Successful Methods
	14:00-18:00	Earth Observation for Disaster Risk Reduction
H	11:00-12:30	EU Africa cooperation in Earth Observation
	13:30-17:30	An innovative impact-driven approach on Capacity Building for GEO flagships, thematic and regional initiatives and community activities
G	8:30-10:30	Towards result-oriented GEOSS with NextGEOSS' user-centric approach

# GEO Week 2018 サイドイベント概要 (その2)

## DIAS Symposium

- 日時： 2018年10月30日(火) 8:30-10:30
- テーマ： SDGs推進と国際協力に向けて
- 目的： DIASの成果を発表するとともに、地球観測プラットフォーム間における国際協働の在り方について議論する
- 概要：
  - DIASの紹介
  - DIASプラットフォームとサービス
  - 現場観測データの収集及びメタデータ管理のためのDIASアプリケーション
  - 水資源管理のためのDIASアプリケーション
  - パネルディスカッション



10月30日に開催されたサイドイベント		
部屋	時間	イベント名
B1	13:30-15:30	Digital Earth Africa
	15:30-18:30	Applying the Open Data Cube technology to the Sustainable Development Goals
C1	8:30-12:30	Translating the Paris Agreement into observational needs
	13:30-15:00	GEOGLOWS Activities: Developing the global scope of Water Prediction Capabilities and Essential Water Variables
	15:30-17:30	Energies and mineral resources management: What GEO can bring to SDG 7
C2	9:00-11:00	FY Satellites Service for "The Belt and Road" countries
	13:30-15:30	In-Situ observations by European Research Infrastructures for Sustainable Development: The ENVRI approach
	15:30-17:30	Democratizing Data Analytics, Communicating Results for SDGs
D	8:30-10:30	DIAS Symposium for SDGs and International Cooperation
	10:30-12:30	Policy dialogue in support of the GEO LDN initiative
	13:30-17:30	Models for University/Public Sector Partnership to Apply Earth Observation in Support of the SDGs
E	8:30-12:30	Global Ecosystems and Environment Observation Analysis Research Cooperation (GEOARC)
	13:30-17:30	The role of Geospatial data in achieving the UN SDGs
	17:30-19:00	EuroGEOSS progress and coordination
H	8:30-12:30	ERA-PLANET: The European network for observing our changing planet
	13:30-17:30	Tracking the Contribution of Nature: Advances in Earth Observation for Ecosystem Accounting (EO4EA)

11月2日に開催されたサイドイベント		
部屋	時間	イベント名
K	10:00-13:00	Land Degradation Neutrality Initiative general meeting